



横浜市立相沢小学校

12月号 R2.11.30

学校だより



学校 HP QR コード

だれにとっても居心地のよい相沢小学校

校長 海老澤 孝代

11月は天候に恵まれ、1～5年生では安全を優先に計画を立て、校外学習が行われました。16日には、4・5年生が「かがやけスタートレイン。協力し合いみんなでスマイル。七沢駅へ出発進行！！」をスローガンに体験学習を行いました。午前はそのそれぞれの社会科学習、そして午後は厚木市七沢の豊かな自然の中でのウォークラリー、施設を活用したレクリエーションを行い、交流を深めることができました。5年生がリードして活動を進める姿がとても頼もしく、一つ一つの取組を終えるごとに子どもたちは成長していくのだと改めて感じました。どの学年の子どもたちも校外での活動を十分楽しみ、秋の一日を満喫することができました。たくさん笑顔を見ることができたのは、持ち物の準備、お弁当作り等のご協力があったからこそと思います。ありがとうございました。

12月19日土曜日には、「あいざわっ子発表会」を予定しています。今年度は、感染症対策を講じ午前午後の2部制とします。今取り組んでいる学習の様子や成果を見てほしいと準備を進めているところです。多くの人の関わりで成長している子どもたちの姿をご覧いただきたいと思います。

さて、先日二つ橋小学校と「だれにとっても居心地のよい学校づくり」をテーマに、Zoom を活用したオンラインで『よこはま子ども会議』が行われました。参加した運営委員は二つ橋小学校の活動に感心し、刺激を受けているようでした。どちらの学校でも目標を達成するために、あいさつを大切にしていることが分かりました。そこで全校児童みんなで行うあいさつ運動体験をしようと計画し、代表委員会で話し合われました。大きな声、はっきり、目を見てなどのあいさつの仕方の他に、体験の順番、工夫としてあいさつを紙に書いて示してもよい。ということに決まりました。最後に担当の先生から、「大きな声であいさつしようとだけ決まったら、あいさつが苦手、なかなか大きな声を出せない人にとってはどうかな。居心地のよい学校にはならないよね。そういう人のことも考えて話し合いが進んだのがとても良かったです。」と話がありました。だれ一人も取り残さない、だれにとっても居心地がよいということとは。と改めて私自身も考えました。あたたかい心にあふれ、友達を思いやることのできる学校をこれからも目指していきたいと強く思いました。



屋根と窓サッシ、上部の外壁部分のみではありますが、体育館の改修が終わりました。大型の換気扇も設置され、換気も十分行えるようになります。屋根の色は6年生が選定してくれました。懸案だった雨漏りが解消され、安心して学習や行事等に取り組むことができます。来校された際には、ぜひご覧ください。



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子